

番組審議会議事録

日時 令和7年7月17日（木）13:30～

場所 萩テレビ株式会社 会議室

出席者 審議委員6名 会社側3名

三浦正之、柳林浩一、牧野泉、大平憲二、北川秋穂、小川真綾、藤田賢治郎【委員】

梶野晴彦、久保田桂子、井上光貴【会社側】

欠席者 なし

議題

〔1〕 会社側の報告等

・近況報告

・今回の審議番組について説明

審議番組：「浜崎伝建おたから博物館～歩いて萩の宝物～」生特番

5月18日（日）午前9時20分～11時30分

スタジオ…久保田 桂子

レポーター…ぶるぼん・梶野 晴彦

・番組内容

5月18日（日）浜崎地区で開催される「浜崎伝建おたから博物館」の様子をエフエム萩のスタジオと現地（電話中継）で繋いでお届けする特別番組。スタッフが会場からレポートを実施。

伝統的建造物群保存地区の浜崎を舞台に、古い町並みや各家々に伝わるお宝をご覧頂きながら、様々なイベントをお楽しみいただける1日。恒例の雑魚場食堂の釜揚げしらす井をはじめとした飲食や、特産品等の販売、地元住民によるガイドツアー、音楽演奏など内容盛りだくさん。浜崎観光客用駐車場で開催される「浜崎蚤の市」は、昨年につき開催！お楽しみ一杯、賑わう浜崎からその様子をお届けする2時間プログラム。萩市内をはじめ、市外から来られた方が「おたから博物館」に行く前に、ラジオやカーラジオでリアルタイムにイベントの様子を知り、よりイベントを楽しんでいただくことを目的としています。

毎年たくさんの来場者があり、萩市内でも人気のこのイベントの特別番組を通して、よりたくさんの方にエフエム萩を知っていただけるのではないかと考えます

〔2〕 番組内容の審議

次のような意見があった。

- 当日の様子が良く分かるレポートで生放送ならではの臨場感のある放送だった。放送を通してイベントなどのイメージもでき、特別感が感じられ、とても楽しい放送だった。また、リスナーやこれからお祭りに行こうとする人に的確で良い情報を伝えている。さらに、最初の10分間で簡潔に祭りの内容を伝えていたのも良かった。
- スタジオの久保田さんが先に情報を伝えたり、具体的で分かりやすくテンポのいい、明るい放送だった。全体的にバランスよい放送だった。リポーターとの掛け合いも良かった。放送内で分かりにくい、伝わりにくい場面をくみ取り、再度伝えていたところも良かった。
- 番組の編成は、現場のリポーター2人とスタジオの久保田さんとの役割が明確で、現場での発言をスタジオで復唱・補足するなど、リスナーにとってとても聴き易い構成になっていた。
- ぶるぼんさんは初めてのレポートだったが上手に話し、絡みや食レポやお祭りに来ていた方との絡みもとても自然だった。また、個性的で味があり、リアクションも良く、よい放送だった。
- ぶるぼんさんの説明・インタビューは、さすがに芸人だけあって人を引き付け、話を聞く様子が好ましく伝わってきた。
- 梶野さんの解説も上手で内容も深みがあった。また、楽しそうにレポートをしていたのでお祭りを見に行きたくなった。
- 蚤の市の取材は、蓄音機・食器・雑貨等が紹介されたが、蓄音機の形を想像するだけで、現地に行った気分になった。
- 西光庵の取材は普段公開されていないこともあり、江戸時代の仏像33体が安置されていることなど、興味深い内容であった。
- 番組の構成も良く、実行委員会事務局の岩崎さんの話もあり、現場のイメージが分かりやすかった。
- オリジナル曲もあり良かった。
- 番組も前年よりバージョンアップしていて、番組の途中にも解説などがあり良かった。また、今年ならではのイベントも取り上げていた。
- コミュニティラジオならではの繋がりや掛け合いもあり良かった。また、随所に町を掘り起こしての放送が出来ており、イベント主催者の想いや情報もあった。
- 当日の天候や自転車置き場などの情報も番組途中にあたりしてよかった。
- このイベントの放送は4回目であり、これまでの反省点をクリアするよう、企画段階から工夫が加えられていた。例えば、現場音声の聞き取りづらさが全く気にならないほど大幅に改善されていた。

<会社側からの回答>

- ・ これからも市民が聞いて役立つ情報発信及び新しい番組の企画に努めていきたい。

[3] 次回開催について

次回は、令和7年9月25日(木) 13:30～に開催することが決まった。

審議番組は、7月5日(土) 18:00～20:30に放送の「田町土曜夜市生放送特番2025」に決まった。